



和光市議会議員 鎌田やすはるの 和光市政レポートVol.4 ～和光市に春を～

読んでいただいたあなたは**30001**人目の読者です。
※累計発行部数をもとに算出しております。

2025年から介護人材の不足はより深刻に。早期対応を求めています。

2025年における介護人材の不足の予測



和光市における介護の3つの課題

- 現在平均年齢が42歳の県内2番目に若い和光市はこれから高齢者が増える。
- 和光市の特別養護老人ホームは少なく、これから作らなければいけない。
- 和光市は財源の豊かな東京都と隣接しているため、介護人材獲得競争に負ける可能性が高い。(早期の着手が必要)
→ 東京都は介護人材確保に着手を開始

一般質問における鎌田やすはるの提案

状況 和光市の介護人材の不足感が発生している状況

和光市の特別養護老人ホームについて、和光市では1施設しかなく、入居待ちが続いている。

提案 ● 介護人材不足を正確に把握すること
● 八王子市の先進的な介護人材確保事例の活用

● 特別養護老人ホーム募集要項の見直し
● 介護保険料等級地(地域の介護単価)の向上

結果 令和7年度を目途に介護人材の不足について調査を行うことが決定。介護計画に組み込まれることに。

80人規模の特別養護老人ホーム建設に向けて計画が調整が進むことに決定。